

10月4日



かじたま

鯉沢中学校
学校だより

令和元年度

(鯉 中 魂)

校長 伊藤 正人

10月

学校教育目標 「ふるさと鯉沢を愛し、
活力にあふれ、人間性豊かな生徒の育成」

校 訓 「自主・創造」

山の木の葉も色づき始め、秋の深まりを感じさせます。今月3日・5日には、峡南地区新人大会が行われます。3年生からバトンを引き継いだ1・2年生の活躍が期待されます。お弁当の準備や雨天時の順延の対応など、ご苦労を掛けますが、よろしくお願い致します。

思春期体験学習



先月の27日(金)には、鯉沢児童センターにおいて「3年思春期体験学習」が行われました。子どもの誕生やその成長、またその喜びや苦労を学ぶことで、「命の大切さ」を学ぶ取り組みです。当日は、NHK放送局の取材もあり、当日の夕方や夜のニュースをご覧になった方もいらっしゃるでしょう。

始めに受精から出産までの経過を学び、人形を用いて実際の赤ちゃんの成長を実感することでした。1mmの受精卵から3000gの乳児の大きさを把握し、妊婦さんのおなかを触らせていただく体験をしました。妊婦さんから出産の喜びや伴う苦痛や苦労を伺いました。続いて、妊婦体験ベストを着用しました。その重さに、誰もが驚きました。妊婦さんの苦労の一端



を実感しました。人形を使って乳児の抱き方を、保健師さんの指導のもと習いました。そしていよいよ、赤

ちゃんとそのお母さんとの対面です。4～5カ月の赤ちゃんを抱っこしました。生徒たちは、不安そうな様子を見せましたが、しだいに慣れ、膝に座らせたりあやしたりしていました。女生徒はもちろんですが、男子生徒が積極的なことがうれしかったです。育児の楽しさや苦労話なども伺いました。命の不思議さやすごさを感じたことでしょう。

教室に戻って、対面した赤ちゃんとお母さんにお礼の手紙を書き、改めて自分の命や親のありがたさを考えました。保護者の皆さまにもご協力いただき、ありがとうございました。また、ご協力いただいた妊婦さん、赤ちゃんとそのお母さん、町の保健師さんや助産師さんには、このような機会を与えていただき大変ありがたいです。この思春期体験学習は、峡南教育事務所のサポートにより10年以上続いている取り組みです。今後も継続していきたい価値ある学習だと感じました。



避難訓練

9月30日に、抜き打ちの避難訓練を行いました。生徒の対応はしっかりしており、安心できるものでした。地震は予測ができません。そのうえで甚大な被害をもたらします。避難訓練はそれに備える一つです。飲料水や食料などの備蓄もそうです。備えは大変ですが、いざというときは命を救うかもしれません。悲惨な状況を想像すると、地震に備えることは大変効率の良い保険だとも言えます。無駄になることを願いつつ、学校では備えを継続させています。



山車巡行祭り【11月4日(日)】

町制施行10周年記念事業のひとつ、山車巡行祭りが11月4日に行われます。1・2年生が鯉沢ばやしの演奏を山車に乗って行います。2km以上の道のりを往復しての巡行となります。1・2年生が、お祭りを盛り上げる役割を果たしてくれるでしょう。2年生の練習も始まっており、大いに期待できます。